（様式３）

法人名と施設名の両方を記入する。

事 業 計 画 書

施設系サービスの事業者が見守りロボットを導入する場合の記載例です。

（補助事業者名：　法人名　＋　施設名　）

| 補助事業名（区分） | 介護ロボット導入支援事業 |
|---|---|
| 補助率 1／2<br><br>具体的な事業内容 | 介護ロボット導入後３年間の①達成すべき目標、②導入すべき機器、③期待される効果等<br><br>**① 達成すべき目標**<br>**【現状】**<br>・転倒・転落リスクのある利用者が非常に多く、入所定員〇〇名に対し、常時、見守りが必要な利用者が〇〇名以上、常に入所している。また、認知症の症状も重度化しており、離床の際に転倒するケースが非常に多く、**令和元年度の転倒・転落件数は、月平均〇〇件**である。<br><br>・夜間においては、〇〇名の介護スタッフが、1時間に1回の巡回（合計〇〇回）を行い、利用者の状況を確認しているがい、特に見守りが必要な入所者〇〇名に対しては、**定期巡回の間に、さらに〇〇回の追加巡回**を行っており、合計〇〇回以上の見守りが必要になっている。<br><br>**【目標】**<br>・利用者の**転倒・転落事故**を、**月平均〇〇件（〇〇%減）**にする。<br>・夜間、特に見守りが必要な利用者の追加巡回は、センサー検知時のみとし、**追加巡回回数を〇〇件（〇〇%減）**にする。<br><br>**② 導入すべき機器**<br>〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇<br>（機器の特徴等を記載し、「上記① 達成すべき目標」にどう役立つのかを記載する）<br><br>**③ 期待される効果等**<br>〇〇〇〇〇を導入することで、離れた場所でも複数同時に、早期に離床に繋がる状況を把握できるとともに、不要な居室訪問を減らすことができる。これにより、次のような効果が期待できる。<br><br>【利用者の居住環境の向上】<br>・センサー鳴動時に、適切な対応を行うことにより、利用者の転倒を予防できる。<br>・不要な居室への訪問を行わずに済むことで、夜間等の睡眠を妨げることが無くなり、居住環境が向上する。<br>・離床に至るデータの検証により、支援方法の見直しが行え、サービスを効果的・効率的に提供できる。<br><br>【介護スタッフの負担軽減】<br>・不要な居室への訪問を行わずに済むことで、見守り業務の時間を他の業務に充てることができる。<br>・転倒事故が減少することにより、経過観察や記録などの業務が減少する。 |
| 事業の着手日（予定） | 交付決定日以降（新型コロナウイルスや、報酬改定に関する機器等で既に導入済みの場合は契約日） |
| 事業の完了日（予定） | 令和4年3月31日 |